

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	篠路小学校	階数	地上3F
建設地	札幌市北区篠路4条9丁目207-2 ほか	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域 防火指定なし 第1地域	平均居住人員	350 人
気候区分	1地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	19,587 m ²	作成者	株式会社ドーコン
建築面積	1,197 m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,042 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	A 省エネルギー
<p>既存小学校に、RC造3階建の校舎を増築する計画である。</p> <p>外壁には耐久性の高いガルバリウム鋼板と外断工法を用いている。</p> <p>また、開口部にはLowEペアガラスを採用し、断熱性能を向上している。</p> <p>屋上には太陽光パネルを設置することで、省電力化を図るとともに、児童への省エネルギーの啓蒙を行うこととしている。</p> <p>敷地周辺には、緑化を施している。</p>	<p>外断熱工法とLowEペアガラスによる断熱性能を向上させることで、暖房エネルギーを抑える計画としている。</p> <p>また、屋上に太陽光パネルを用いることで、消費電力を抑える計画としている。</p>
B 省資源等	D 雪処理
<p>ゴミをまとめて分別できる場所を設置している。</p>	<p>昇降口を南側道路に面し、近い位置に設けることで、除雪範囲を抑えることとしている。</p> <p>玄関からグラウンドまで、除雪ルートを確認することで除排雪のしやすさを確保しています。グラウンドに雪を貯めることで、敷地外に雪を出さない計画としています。</p>
C 緑化	
<p>新しい校舎周辺に、樹木を可能な限り植樹している。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される